



元気いっぱい やる気いっぱい 笑顔いっぱい

せのうえ

瀬上小学校だより

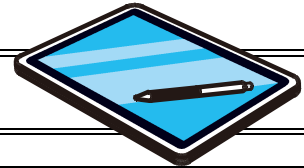
令和5年11月17日(金)
第14号(地域回覧版)
文責:校長 高橋哲也

子どもの立場から考えることの大切さ

11月12日(日)、第71回福島県PTA研究大会二本松大会があり、瀬上小からも瀬戸会長と内池副会長、高橋の3人で参加しました。(瀬戸会長、内池副会長、休日のご参加、ありがとうございました。)

二本松市城山総合体育館での全体会のあと、高橋は二本松第一中学校に移動して第3分科会に出席しました。分科会のテーマは「ゲーム・ネットにのめり込む未成年への親のかかわり方」です。講話の中で心に響いた内容がありましたので、紹介します。

急に取り上げたり、止めさせたりすることは逆効果



子どもにかかわることが一番大切 (理由をたずねる。一緒に原因を考える。)

親の姿を子が真似る。子は親の姿を見て育つ。

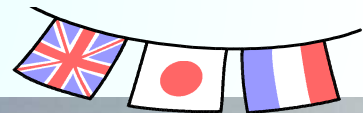
お子さんのタブレットやスマホの使い方を心配している親さんへの助言でしたが、それにとどまらず、どの内容も私たち“教職員”と“子ども”の間にも言えることだと感じました。上の3点は、特にそう感じた内容です。

私にも子どもたちの一見よくない言動を見て、何の確認もせずに注意してしまったことがありました。一方的に何かを止めさせたこともあります。常に子どもたちの模範でいられたらどうか…自信をもって「はい!」とは言えない自分がいます。

これまでの自分をふり返る、自分の気持ちを引き締める、とてもよい機会になりました。子どもたちの“言葉”や“行動”になって表れるサインを見逃さず、子どもの立場から一緒に原因や解決策を考えられる教師でいなければ…、そんな学校にしなければ…と、思いを新たにしました。

“子どもが第一”“子どもファースト”の学校づくり、これからも意識していきます。皆様のご意見やご要望も、ぜひ、お寄せください。

晴天のもとで4年ぶりの瀬上地区体育大会



11/3(金)、4年ぶりとなる第64回瀬上地区体育大会が盛大に開催されました。

当日は体育大会ならではの競技に、多くの子どもたちが楽しく参加させていただきました。その様子から、あらためて地域の皆様の支えの大きさを実感しました。

瀬上体協の皆様、そして、地域の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。